

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		成果指標		分析	改善方策	学校関係者評価				
				評価		評価			自己評価	改善方策	意見等		
生活指導等	いじめ、不登校等の予防や解決に向けた組織的な取組等を行う。	生活指導部を中心に、いじめ防止、不登校及び長欠予防に向けた部会を定期的に行い確認する。	4	いじめ・不登校未対応件数ゼロ	4	4	学校評価アンケート「子供たちは毎日明るく楽しく学校生活が送れている」肯定的評価90％以上	4	保護者回答の肯定率は95.0％で、成果指標を5.0P上回った。	・いじめ防止授業を年3回実施するとともにSNSルール等の内容を指導徹底する ・一人1台端末の利用を家庭と連携しルールを守る指導を徹底する	A	B	・100％を目指していた きたい。不登校の話をたまに聞くが、個別案件を解決するには改善方策が不十分であると感じた。 ・いじめ防止授業は多い方が 良いし、端末の家庭連携も 良いことだと思う。 ・使用時間を決めて、一定 以上やらないように、家庭 でも厳しくすることが大切 なのでは。 ・いじめではないものの、 いやなことをされたり言わ れたりとは多々あるようだ。 学校外での公園遊びも目に 余る遊びをしていて心配で ある。 ・子ども同士、勝手にメー ルアドレスを交換している こともあるので、SNSの 危険性について必要以上に 行っていたきたい。
			3	同　＋5相当		3	同　80％以上						
			2	同　＋10相当		2	同　70％以上						
			1	同　＋15相当		1	同　60％以上						
	基本的な生活・社会習慣、人間関係づくりのための心の教育等に取り組む。	手法を工夫しながら、基本的生活習慣の徹底を図る。	4	あいさつ活動、なかよしタイム等実施状況肯定的評価90％以上	4	4	学校評価アンケート「心の教育に熱心に取り組んでいる」肯定的評価90％以上	4	保護者回答の肯定率は93.6％で、成果指標を3.6P上回った。	・道徳教育の充実を図る ・「学級挨拶運動」等、手法を工夫し、基本的生活習慣の徹底を図る ・なかよし班活動を行い、関わり合いを深め、思いやりの心を育てる	A	A	・なかよし班活動は、たでのつながりをもてるとても 良い機会だと思う。特に高 学年は成長できる大切な機 会のように感じる。 ・挨拶は人と人とのつなが りの基本。表面上の挨拶で はなく、心のこもった挨拶 をどうすれば出来るか教 えていただきたい。
			3	同　80％以上		3	同　80％以上						
			2	同　70％以上		2	同　70％以上						
			1	同　60％以上		1	同　60％以上						
	危機回避能力の育成や子供の安全を確保するための取組等を行う。	安全指導と安全点検を徹底するとともに、毎日の看護当番や引率時の安全確保を徹底する。	4	各種安全指導の研修会実施状況肯定的評価90％以上	4	4	学校評価アンケート「健康・安全の指導が適切」肯定的評価90％以上	4	保護者回答の肯定率は91.8％で、成果指標を1.8P上回った。	・毎日の看護当番や引率時の安全確保を徹底する ・毎月の避難訓練、安全点検、研修会実施により危機管理意識をの高揚を図る	A	A	・PTAによる組織的な防災訓練が自主的に行われていて、好評価である。 ・階段を急いで上り下りしている子を多く見かける。 高学年だと大事故につながる危険性もある。廊下を走らないだけでなく、ゆっくり歩くことも気を付けてほしい。 ・近隣の工事に対しての安全面の指導はされているか。
			3	同　80％以上		3	同　80％以上						
			2	同　70％以上		2	同　70％以上						
			1	同　60％以上		1	同　60％以上						

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		成果指標		分析	改善方策	学校関係者評価				
				評価		評価			自己評価	改善方策	意見等		
学校の管理運営	経営方針に基づいた、組織的な教育活動・学校運営等を行う。	体罰の根絶をはじめ、服务等の規律を正し、適正な管理運営を図る。	4	服務事故防止研修会実施状況肯定的評価 9 0 % 以上	4	4	体罰、不適切な指導なし	4	体罰・不適切な指導ともに 0 であった。	・体罰防止セルフチェックや人権感覚チェックシートを活用する ・教職員の自己申告書に目標設定し、服務規律の徹底を図る	A	A	・前回の協議会での授業参観で拝見し、好評価である。 ・体罰、不適切な指導はあってはならない。 ・外部指導者による部活動で、体罰や暴言がないかチェックしているか。
			3	同 8 0 % 以上		3	同 + 1 相当以内						
			2	同 7 0 % 以上		2	同 + 2 相当以内						
			1	同 6 0 % 以上		1	同 + 3 相当以上						
	子供の実態に合わせた教育目標設定及び学校評価等を適切に行う。	一人一人の児童の実態把握に努め、特に補充学習や特別な教育支援が必要な児童に丁寧な指導を行う。	4	全学年算数少人数指導の実施 9 0 % 以上	2	4	学校評価アンケート「工夫した学習指導を進めている」肯定的評価 9 0 % 以上	4	学級対応のため、一時的に 3 ～ 6 年生の少人数算数が実施できていない。 保護者回答の肯定率は 9 5 . 5 % で、成果指標を 5 . 5 P 上回った。	・児童の視点に立つて諸取組を推進するとともに、常に修正・精選・見直しの観点をもつ ・全学年算数少人数指導を継続し、適切に評価する	B	B	・教科で様々な取組が行われていると思う。子供たちの興味・好奇心を刺激するような取組を引き続きお願いしたい。 ・高学年になるほど算数が難しくなり、落ち込みやすいので、補習授業をしてほしい。 ・算数少人数指導を強く希望する。 ・1 年生全クラスに補助の先生が入っていることに驚いている。 ・教職員に無理のかからないようにしてほしい。 ・原因が分かっただけの改善方策なのかがよく分からない。 ・少人数で勉強した場合とそうでない場合で、どのくらい成績に差があるのか。
			3	同 8 5 % 以上		3	同 8 0 % 以上						
			2	同 8 0 % 以上		2	同 7 0 % 以上						
			1	同 7 5 % 以上		1	同 6 0 % 以上						
	適切な教育活動が行える教育環境・設備等を整える。	外壁・校章・掲示板・空調・照明等の改善を図るとともに、ＩＣＴ環境・読書環境の更なる充実を図る。	4	施設面の不具合を理由とする学校事故ゼロ	4	4	学校評価アンケート「校内の環境整備に積極的に取り組んでいる」肯定的評価 9 5 % 以上	4	保護者回答の肯定率は 9 7 . 9 % で、成果指標を 2 . 9 P 上回った。	・全校児童が周年への意識が高まる環境整備に努める ・老朽化に伴う施設改善は、区と連携しながら工事等を計画する	A	A	・オール両小で輝かしい 1 5 0 周年を迎えられることを願っている。 ・老朽化に伴う改善は、より早めるべきと考える。 ・下駄箱の場所が暗いし、なんとか改善できないか。 ・プールの更衣室に冷房がなく、とても危険である。熱中症対策として改善してほしい。
			3	同 + 2 相当以内		3	同 8 5 % 以上						
			2	同 + 5 相当以内		2	同 7 5 % 以上						
			1	同 + 5 相当以上		1	同 6 5 % 以上						
	保護者と学校が連携しながら望ましい家庭学習習慣の確立を図り、児童の学びを深めさせる。	「まなびスタンダード」を徹底するとともに、保護者の協力の下、「ミライシード」等の効果的な活用により、家庭学習の充実を目指す。	4	全校で「まなびスタンダード」の徹底肯定的評価 9 0 % 以上	4	4	学校評価アンケート「保護者会・個人面談は適切」肯定的評価 9 0 % 以上	4	保護者回答の肯定率は 9 4 . 2 % で、成果指標を 4 . 2 P 上回った。	・ 4 月にスタンダードを徹底し、望ましい家庭学習習慣の確立を図る ・保護者の協力の下、「ミライシード」等の効果的な活用により、家庭学習の充実を目指す	A	A	・全項目、保護者回答が成果指標を上回っており、良いと思う。 ・まなびスタンダードを徹底することとは、どういうことなのか。 ・ミライシード、少し難しいと感じないか。
			3	同 8 0 % 以上		3	同 8 0 % 以上						
			2	同 7 0 % 以上		2	同 7 0 % 以上						
			1	同 6 0 % 以上		1	同 6 0 % 以上						

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		成果指標		分析	改善方策	学校関係者評価				
				評価		評価			自己評価	改善方策	意見等		
家庭・地域連携	「ふるさとすみだ・両国の誇り」をもたせ、児童の全人的成長を図る。	地域人材・教材を生かした学習、地域との協働による教育活動をさらに活性化する。	4	地域人材や施設等を利用した体験的な学習の実施肯定的評価90％以上	4	4	学校評価アンケート「PTAや地域での活動に協力的」肯定的評価95％以上	4	保護者回答の肯定率は97.9％で、成果指標を2.9P上回った。	・地域人材を生かした授業を推進し、地域から学び、地域の一員としての自覚を高める ・地域連携をテーマにした校内研究授業4回実施する	A	A	・常に地域連携を密にしていきたい、ありがたい。 ・地域でのイベントなど、活動に協力的で良いと思う。 ・両国小学校ということに誇りをもって協力してくれる先生方や地域の方がいて、感謝している。 ・地域の歴史と人物について、勉強する機会を作ってほしい。 ・元々、地域との結びつきが強い両国小だが、来年度は150周年に向けてさらに地域連携の意識が高まることを期待している。
			3	同 80％以上		3	同 85％以上						
			2	同 70％以上		2	同 75％以上						
			1	同 60％以上		1	同 65％以上						
	教育方針や日常の教育活動の様子などを工夫して分かりやすく伝える取組等を行う。	学校便り・ホームページの更なる充実と、学校情報連絡システム（COCO）により、保護者と学校の情報共有を推進する。	4	学校ホームページ毎日更新	4	4	学校評価アンケート「情報を適切に発信」肯定的評価95％以上	4	保護者回答の肯定率は97.7％で、成果指標を2.7P上回った。	・デジタル化も含めた適切な方法で教育活動の内容・実施状況等を分かりやすく伝える ・ホームページ更新を積極的に行い、情報発信に努める。	A	A	・学校からの便りは良い。 ・情報共有が整備された環境に尽力されていることに感謝したい。 ・スマートフォンを使って情報を共有することは良いと思う。 ・HPの特に給食の写真は卒業した子供たちも懐かしく思い出すことが出来、楽しみにしている。美味しいメニューは心に残っているようである。 ・学校HPを毎日更新されているのを知らなかった。知らない保護者は多いと思うので、周知していただきたい。 ・町会のHPを作成しているが、どうしても両小の記事を載せるのを遠慮してしまふ。子どものプライバシー優先のため、写真・氏名掲載が出来ないのが悩みの種である。
			3	同 週3日程度		3	同 85％以上						
			2	同 週1日程度		2	同 75％以上						
			1	同 2週1日程度		1	同 65％以上						

○令和6年度 学校経営報告のまとめ（総括）

・今年度の学校評価は、保護者アンケートでは「教職員の 対応」「教育目標」「校内の環境整備」「情報発信」等において高評価を、学校関係者評価では「教員の指導力・授業力の向上のための、組織的な取組」をはじめ8の項目において自己評価・改善策とも学校の示したものに適切である、との高評価をいただいた。

・今年度も「質問紙回答アプリ」を活用して保護者アンケートを実施し、回答率は昨年度比3.0ポイント増加し、92％であった。運営連絡協議委員の方からも、学校の回答率を高める取組に対して称賛の声をいただいた。今後も多くの家庭から回答いただけるよう、引き続き周知していく。

・保護者アンケートにおいて評価の低かった項目では、「分からない」と回答したのが一定程度見られた。学校の良い取組を全家庭に適切に情報発信し、保護者や地域との連携を確実なものにしていく。

・来年度は本校にとって大きな節目となる「開校150周年」を迎える。子供たちの愛校心・地域愛を育むまたとない機会であり、委員の方からも地域連携を大切にしたい教育活動が推進されることへの支援の声が多数寄せられた。これからも社会に開かれた教育課程の編成・実施に努めるとともに、状況に応じた教育活動の工夫をたゆまず進め、子供たちが「両国小学校に通える喜び」を日々実感できるよう、本校への期待に応えていきたい。